

令和8年3月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和8年3月号」をお送りいたしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

第98回選抜高校野球大会に、東北地区代表として八戸学院光星高校が出場します！
昨年の秋季東北大会で準優勝している同校。東北地区の一般枠で選ばれ、センバツ出場は2年ぶり12度目です。

3月6日には組合せ抽選会も行われ、1回戦で中国地方代表の崇徳（広島）と対戦することが決まりました。試合は大会1日目の3月19日、第3試合を予定しています。

八戸学院光星は平成24年の第84回大会での準優勝が過去最高の成績で、今大会では初の頂点を目指します。皆さんで熱い声援を送りましょう。

◎皆様へのお願い

所属、役職、連絡先などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 03-3261-8973 / FAX 03-3239-6723

E-mail tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 3月号 レポート

令和8年2月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	町内会の課題解決へデジタル技術活用 事例報告会で情報共有
(2)	八戸市が企業連携交流サロン開催 DX活用し生産性向上を
(3)	「はっち」(八戸) 15周年 記念セレモニー、催し多彩
(4)	八戸ふるさと交流フォーラム「食のまち」売り込むために
(5)	八戸市立図書館がセルフ貸出機導入 混雑解消、プライバシー保護

【産業】

記事	概要
(6)	八戸商議所青年部がモニターツアー 漁師の仕事や食、「冬の漁港」アピール
(7)	バリューシフト(八戸) 三八・北三陸の情報発信 CF活用、サイト開設目指す
(8)	お庭えんぶり 訪日客に好評 観覧券 海外予約サイトで初販売
(9)	八戸北インター第2工業団地 八戸酒造 テクノクラフト社 3区画分譲へ
(10)	八戸・割烹金剛内に「牛庵まりひめ」開店 プレミアム毬姫牛提供

【地域】

記事	概要
(11)	八戸高専 エネルギー人材育成強化「教育センター」設立
(12)	館鼻朝市公認アイドル「パッチ」 念願 市公会堂初ライブ
(13)	八戸・旧チーノ跡地 マンション1棟完成 3月末入居開始
(14)	トヨタカローラ八戸 八戸駅西地区にスポーツジムオープン
(15)	うまい! 八食鍋フェス 24種類提供、えんぶり実演も

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	全国中学校スケート大会スピード競技 八戸勢大健闘
(17)	GOMAさん(弘前出身) 八戸市美術館で個展 独創的な絵画や立体
(18)	「青の煌めきあおもり国スポ」 冬季大会閉幕
(19)	八戸えんぶり閉幕 力強く摺り納め
(20)	J2・J3百年構想リーグ開幕 サポーター“全緑”応援

【行政】

記事	
(1)	<p>町内会の課題解決へデジタル技術活用 事例報告会で情報共有</p> <p>八戸市は2月4日、連合町内会向けの報告会とワークショップを開き、高館地区連合町内会が企業と連携して行った情報発信に関する実証プロジェクトの成果や方向性を共有した。同連合町内会は本年度、滋賀県の広報ITサービス会社と連携し、身近な情報を発信するwebサイト「たかだてミンログ」を手がけた。100文字程度の簡単な文章と写真を入力するとAIが1千字程度の記事にまとめるもので、サイトを訪れた人の45%がサイトの取組を見て町内会への加入を検討したいと回答するなど、情報発信の効果が見られた。市は来年度は実施町内会を増やし、防災や外国人との共生の分野にも取り組む方針。</p>
(2)	<p>八戸市が企業連携交流サロン開催 DX活用し生産性向上を</p> <p>八戸市は2月9日、企業連携交流サロンを開き、DXや設備投資、事業承継をテーマにパネルディスカッションを行った。今回は燃料小売業の青森つばめプロパン販売の黒澤代表と、工場向け大型機械設備を製造する高橋製作所の田中社長が登壇。つばめプロパンは県のDX補助金でスマートセンサーを導入し、配送効率化で事業の多様化を推進。高橋製作所は育休取得率向上で厚生労働省のくるみん認定を受けたほか、市の助成金で省エネ旋盤を導入した。参加者は生産性向上や円滑な承継の好事例に理解を深めた。</p>
(3)	<p>「はっち」(八戸) 15周年 記念セレモニー、催し多彩</p> <p>八戸ポータルミュージアム「はっち」が2月11日、開館15周年を迎え、記念式典が開かれた。2011年にぎわい創出や地域文化振興の拠点施設とし開館した「はっち」は、イベント会場や作品展示などに活用され、来館者は24年11月に1,100万人を達成した。式典では同市出身の彫刻家・ツリーハウスビルダー木村勝一さんが手がけた高さ8mのツリーハウスがそびえる中、ピアニスト豊島裕子さん(同市出身)がお祝いの演奏を披露。オリジナルの和菓子のお茶席も設けられるなど、多くの市民や関係者がはっちの誕生日を祝福した。</p>
(4)	<p>八戸ふるさと交流フォーラム「食のまち」売り込むために</p> <p>八戸市は2月12日、都内で八戸ふるさと交流フォーラムを開いた。「食のまち・八戸」をテーマにパネルディスカッションが行われ、熊谷市長と日本食文化観光推進機構の田中操理事が登壇した。八戸とゆかりが深い田中氏は、同市の食に関する強みや課題を解説し「新たな食体験」の創出などを提言。参加者は食を生かした市の魅力発信や誘客について理解を深めた。熊谷市長は「独自の『食のまち・八戸』の取組を推進していきたい」と力を込めた。同日は熊谷市長による市政報告会や交流会も開かれ、参加者が親睦を深めた。</p>
(5)	<p>八戸市立図書館がセルフ貸出機導入 混雑解消、プライバシー保護</p> <p>八戸市立図書館は2月20日、利用者自身で本の貸出し手続きができる「セルフ貸出機」を導入し、本館1階に設置した。利用者カードと本のバーコードを読み込むことで貸出しが完了する。貸出カウンターの混雑解消のほか、職員に本の内容を見られたくないという人でも安心して利用できる。カウンター業務を効率化することで、本を探すレファレンス業務の対応強化など利用者サービスの向上を図りたい考え。利用状況によっては設置台数を増やすことや、南郷図書館、図書情報センターへの設置も検討する。</p>

【産業】

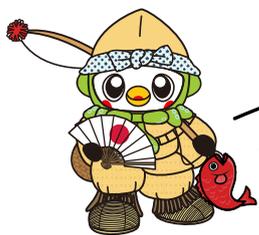
記事	概要
(6)	<p>八戸商議所青年部がモニターツアー 漁師の仕事や食、「冬の漁港」アピール</p> <p>八戸圏域の魅力を生かした体験型観光づくりに向け、八戸商工会議所青年部は2月14日、市内漁港を巡るモニターツアーを初開催した。第1弾のテーマは「冬の漁港のリアル」で、ガストロノミー・ツーリズムの要素を取り入れ、漁師の仕事を体験できるコースを設定。参加者は魚市場の競りや漁船の見学、旬の魚介を使った漁師めしの昼食などを楽しんだ。青年部は本年度、新ビジネス創出委員会を主体に体験型観光コンテンツの開発に着手しており、ツアーを通じて新たな観光資源としての活用の可能性を探った。来年度以降はコンテンツを集めて情報発信する計画。</p>
(7)	<p>バリューシフト（八戸）三八・北三陸の情報発信 CF活用、サイト開設目指す</p> <p>八戸市の観光まちづくり会社「バリューシフト」は、市と災害支援協定を締結した大手クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」(東京)の災害支援プログラムを活用し、ポータルサイトの開設を目指している。三八地域・北三陸エリアの情報やまちづくりイベント、実践型インターンの紹介、移住者モデルの掲載も想定し、災害時に被災者と支援者をつなぐ役割も見据える。プログラム活用は市内第1号で、目標金額は80万円。審査を経て集まった支援金のうち決済手数料5%を除く95%を受け取る。</p>
(8)	<p>お庭えんぶり 訪日客に好評 観覧券 海外予約サイトで初販売</p> <p>八戸地方えんぶり保存振興会は今年、更上閣で開かれた八戸えんぶりの併催行事「お庭えんぶり」で、アジア最大級の予約サイト「KKday」での観覧券販売を初めて行った。今年は平日開催にもかかわらず観覧席はほぼ完売となり、台湾や香港、オーストラリアなどから約30人が訪れた。また、VISITはちのへは首都圏を中心に10人を招き、お庭えんぶりや地酒や横丁の体験を組み合わせたモニターツアーも実施。冬季の観光コンテンツ確立と国内外からの誘客拡大を目指す。</p>
(9)	<p>八戸北インター第2工業団地 八戸酒造 テクノクラフト社 3区画分譲へ</p> <p>八戸市は2月19日、開発を進める新産業団地「八戸北インター第2工業団地」のうち、2025年度末で造成完了を見込む第1工区（20区画）の3区画について、八戸酒造、テクノクラフト・シー・アンド・ヴィ（いずれも同市）に分譲することを明らかにした。同団地では初の分譲となる。八戸酒造は2区画20,355㎡を取得し、価格は6億8,910万円。27年9月の稼働を目指して新工場を整備し、生産能力を高めて多種多様な製品の生産体制を整える。テクノクラフト社は1区画10,628㎡を取得し価格は3億7,190万円。自動車整備工場を構える方針で、詳細な計画を詰めている。</p>
(10)	<p>八戸・割烹金剛内に「牛庵まりひめ」開店 プレミアム毬姫牛提供</p> <p>八戸市の飲食業「金剛」はブランド牛「八戸毬姫牛」を手がけるイチカワファーム（同市）の協力を得て特別に飼育された「プレミアム毬姫牛」の料理の提供を始めた。割烹金剛内に開店した「牛庵まりひめ」にて、すき焼きやしゃぶしゃぶなどを楽しめる。2020年に誕生した八戸毬姫牛は、黒毛和種とホルスタイン種の交雑牛の雌。プレミアム毬姫牛は餌におからを配合し、脂の甘みや質が良好。通年で安定的に提供できる食材の活用で、観光振興や「食のまち・八戸」のPRにつなげたい考え。今後は、ネット販売やふるさと納税の返礼品としても取り扱う予定。</p>

【地域】

記事	概要
(11)	<p>八戸高専 エネルギー人材育成強化「教育センター」設立</p> <p>八戸高専はエネルギー分野の人材育成を強化するため、「青森エネルギー教育センター」を今年4月に開所する。原子力エネルギー分野の講義のほか、函館、秋田両高専と洋上風力発電分野の高度な人材育成を目指すプロジェクトを実施するなど、エネルギー教育に注力している同校。大学や企業、行政と連携し、専門的なカリキュラムを提供する。センターは「再生可能エネルギー」「量子エネルギー」「電力システム」「AEX（青森エネルギー変換）」の4部門で構成。エネルギー産業の担い手を養成するとともに、若者の地元定着の促進につなげたい考え。</p>
(12)	<p>館鼻朝市公認アイドル「パッチ」 念願 市公会堂初ライブ</p> <p>八戸市の館鼻岸壁朝市公認アイドル「pacchi（パッチ）」が2月15日、結成以来初となるSG GROUPホールはちのへ（市公会堂）でのライブを行った。パッチは研究生2人が新加入し4人体制となったほか、姉妹グループ「はっちゃん」の発足も発表。両グループは息の合った歌とダンスで終始観客を魅了。ライブの間には観客席をバックにした写真撮影のほか、サイン入りボールのプレゼントも。初披露の曲も含め15曲を熱唱し、観客705人を熱狂させるとともに、未来へと新たな一歩を踏み出した。</p>
(13)	<p>八戸・旧チーノ跡地 マンション1棟完成 3月末入居開始</p> <p>八戸市十三日町の旧チーノはちのへ一帯「ハチノハスクエア」の再開発事業で、建設中だった分譲マンション「デュオヒルズ八戸ザ・マークス」2棟のうちの1棟が完成したことが2月20日、明らかになった。入居開始は3月末の予定。マンション棟2棟の総計画戸数は141戸で青森県で最大規模。契約者はファミリー層やシニア層が中心で、うち4割は地元が八戸市で県外在住のUターン希望者という。一帯には15階建てマンション2棟や駐車場棟のほか、9階建てホテル・商業棟を建設する。ホテル部分は今年秋の開業を目指し、全体の事業終了は2028年3月を見込む。</p>
(14)	<p>トヨタカローラ八戸 八戸駅西地区にスポーツジムオープン</p> <p>トヨタカローラ八戸が八戸駅西地区に整備を進めていたトレーニングジム「TCGスポーツジム」が2月24日、オープンした。駅西口と多目的アリーナ「フラット八戸」を結ぶ通称シンボルロード沿いに立地し、最新のトレーニング機器約20台を配備。利用は1時間当たり一般300円、高校生150円の時間制で、駅利用者の活用も見込む。また、駅周辺の駐車場不足に対応する153台収容の有料駐車場を併設する。20日から3日間はプレオープンとして、体操教室など健康増進イベントも開催された。</p>
(15)	<p>うまい！八食鍋フェス 24種類提供、えんぶり実演も</p> <p>八食センターで2月22、23日の両日、地元の食材や冬に旬を迎える魚介類など地場産品の魅力をPRする「八食鍋フェス」が開催された。青森県や岩手県北の20店・団体が出店。八戸せんべい汁をはじめ、あんこう鍋、くじら汁、馬肉鍋といった郷土の味から、トマト鍋、クラムチャウダーなど創作料理まで24種類の多彩な汁物が提供された。また、八戸えんぶりの披露もあり、来場者は北国に春を呼ぶ摺りや祝福芸を楽しみながら各店の鍋物に舌鼓を打った。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p>全国中学校スケート大会スピード競技 八戸勢大健闘</p> <p>第46回全国中学校スケート大会が1月31日から4日間、長野市で開催された。最終日の2月3日、女子1,500mに出場した北村眞子選手（根城）が、自身が持つ県中学記録を塗り替え、2分5秒73の自己ベストで初優勝。初日の3,000m（2位）に続き、2つ目のメダルを手にした。県勢女子の優勝は30年ぶりの快挙。また、男子1,500mでは、1日の1,000mで2位に入った竹内凰介選手（八戸一）が3位となり再び表彰台に上がったほか、村上梢選手（根城）も2日の女子500mで県中学新記録で3位に入賞。1,000mの3位と合わせ健闘を見せた。</p>
(17)	<p>GOMAさん（弘前出身）八戸市美術館で個展 独創的な絵画や立体</p> <p>弘前市出身のアーティストGOMAさんの大規模個展「GOMA展 WONDER 不思議と驚きと奇跡」が2月14日、八戸市美術館で始まった。力強さと緻密さを併せ持った作品が、国内外で注目を集めているGOMAさん。大きな個展は3度目だが、9割は新作という。代表作の一つ「ムーンモンスター」や「合掌土偶」をモチーフにした作品など約80点を展示。点字で表現した「手で触れるアート」も関心を集め、独創的な作品が来場者を魅了している。個展は3月29日まで。館内では、作品の図録や展覧会限定グッズなども販売されている。</p>
(18)	<p>「青の煌めきあおもり国スポ」 冬季大会閉幕</p> <p>大鰐町で開催された第80回国民スポーツ大会「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」のスキー競技会が2月17日、閉幕した。八戸市などで先行して行われたスケート・アイスホッケー競技会を含む冬季大会の全日程が終了し、青森県の冬季成績は優勝2、準優勝1、3位7に加え、入賞も数多く獲得。3競技を合わせた男女総合成績（天皇杯）、女子総合成績（皇后杯）は、ともに3位だった。あおもり国スポは1977年に県内で開かれた「あすなる国体」以来49年ぶりとなる完全開催。本大会は10月10日に青森市で総合開会式を実施し、20日まで県内各地で熱戦を繰り広げる。</p>
(19)	<p>八戸えんぶり閉幕 力強く摺り納め</p> <p>国指定重要無形民俗文化財の「八戸えんぶり」は2月20日、4日間の全日程を終えた。市庁前市民広場ではフィナーレを飾る「かがり火えんぶり」の最終演舞が実施された。この日は日計、新組、内丸の3組が出演。炎と、炎を模したオレンジ色のライトに照らされたステージの上で、太夫が渾身の摺りを力強く披露。祝福芸の子どもたちも声を張り上げ、元気いっぱいに舞った。最終日も多くの市民や観光客でにぎわい、観衆は閉幕を惜しむように盛大な拍手を送った。</p>
(20)	<p>J2・J3百年構想リーグ開幕 サポーター“全緑”応援</p> <p>明治安田J2・J3百年構想リーグに参加しているJ2のヴァンラーレ八戸は2月14日、アウェーでJ3のザスパ群馬と対戦し1-0で勝利。初戦を白星で飾った。また、28日に行われたアウェーでのJ2ベガルタ仙台戦では、八戸市のマチニワでパブリックビューイングを開催。試合はPK戦の末惜しくも敗れたが、仙台との初めての「東北ダービー」を見届けようと、213人のサポーターが集結し、熱い声援で画面の向こうの選手たちを後押しした。会場では、キッチンカーなどが並ぶグルメイベント「よりみちマルシェ」も同時に行われた。</p>



企業版ふるさと納税の3つの魅力



『企業版ふるさと納税』のご案内

『企業版ふるさと納税』で八戸を応援！
八戸市では「まち・ひと・しごと」に関する事業を推進しており、応援していただけるみなさまの気持ちを、八戸市のまちづくりを活かしていきたいと考えています。ぜひこの機会に「企業版ふるさと納税」へのご協力をお願いいたします。

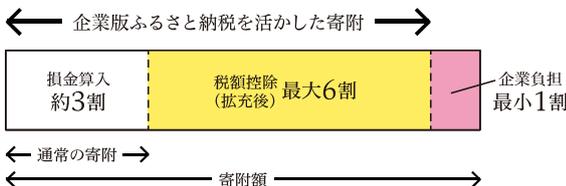


1 税制上の優遇が受けられる

損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減されます。

2 社会貢献

SDGsやESGへ寄与できます。



3 自社PR

ご寄附をいただいた企業様を八戸市HPとSNSでご紹介いたしますので、企業様のPRに繋がります。



申込み方法

電話

メール

二次元バーコード

申込み・お問合せ先

政策推進課

企業版ふるさと納税担当

TEL:0178-43-9233

Email:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp



[寄附受付事業]

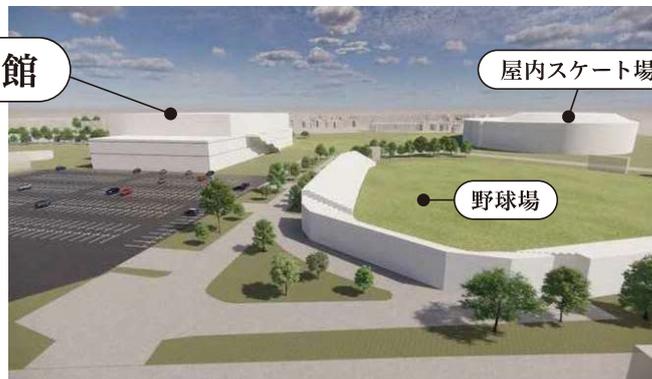
●新体育館の建て替え

スポーツやイベントなど、市民の多様な活動の場として、年間約37万人に利用されています。竣工から半世紀以上経過していることや、時代の移り変わりとともに変化する多様なニーズに応えるため、計画的に準備を進めています。

新体育館

屋内スケート場

野球場



●八戸市の魅力発信

八戸市のマスコットキャラクター「いかずきんズ」や公式SNSなどを活用して、当市の魅力を広く発信しています。

魅力を発信することで

- ◎市民の地元に対する愛着や誇りを醸成したい。
- ◎国内外の人々の当市への関心を高めたい。
- ◎交流人口や定住人口の創出・拡大につなげたい。



●八戸産ぶどうを活用したワイン産業振興

農業振興のみならず、商工業や観光業にも繋がる「ワイン産業」の振興を目指しています。

●創業・事業継承の支援拠点運営

創業及び事業継承の支援拠点を設置し、専門家による相談対応やセミナー開催等により、創業希望者等を支援しています。

●八戸市ブックスタート事業

八戸市在住の赤ちゃんとその保護者を対象に、おすすめブックリストや絵本をプレゼントしています。

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

1 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

2 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

3 お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 大西 伸一郎 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。→
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

送付先・お問合せ先

広報統計課 ふるさと寄附金担当
〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1
TEL:0178-43-2319
FAX:0178-47-1485
Email:furusatotax@city.hachinohe.aomori.jp

インターネット

- 下記5つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



JRE MALL



Amazonふるさと納税



八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っています。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。

また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。